

取扱説明書

ウォッチ

5745*JA

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

こまめに時計の文字板に光を当てて充電してください。

この時計の特長

◆ 光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

◆ ワールドタイムがわかります

世界31タイムゾーンの時刻を表示できます。

◆ アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

◆ タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。2つのタイマーで、10回まで繰り返し計測できます。

◆ ストップウォッチとして使えます

経過時間を1/100秒単位で60分まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。



死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。



危険

二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。

発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。



警告

スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない



本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

分解禁止

注意

お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

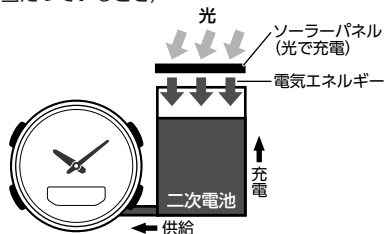
この時計の特長	1	アラーム・時報の使い方	22
安全上のご注意	2	アラームについて.....	22
十分に光を当ててご使用ください	7	アラームのセット.....	22
操作のしくみと表示の見方	9	アラーム・時報のオン/オフ設定.....	24
電源について	11	鳴っている電子音を止めるには.....	24
パワーセービング機能について	15	タイマーの使い方	25
ライト点灯について	16	タイマーのセット.....	25
ボタンを押して点灯させる.....	16	タイマーの使い方(減算計測のしかた).....	27
ライト点灯時間の切り替え.....	16	鳴っている電子音を止めるには.....	28
ワールドタイムの使い方	18	ストップウォッチの使い方	29
都市のサーチ.....	18	計測のしかた.....	29
サマータイム(DST)について.....	19	ホームタイムデータ(時刻・日付)の合わせ方	31
サマータイムのオン/オフ設定.....	19	セットのしかた.....	31
ホームタイムとワールドタイムの入れ替え.....	20	針の基準位置合わせ	36
都市コード一覧.....	21	製品仕様.....	38
		ご使用上の注意.....	39
		お手入れについて.....	43
		本製品で使用している電池について.....	44
		金属バンドの駒詰めについて.....	44

十分に光を当ててご使用ください

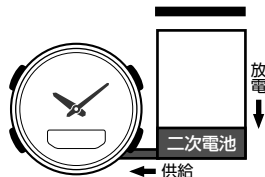
本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくためには、本機のソーラーパネルに光が当たるようにしてお使いください。

●光が当たっているときと当たっていないとき

〈光が当たっているとき〉



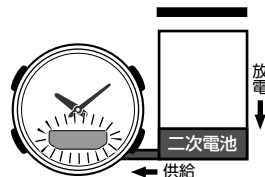
〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たっていないときでも常に動いていますので、このままでは二次電池の容量が減って機能が使えなくなります。

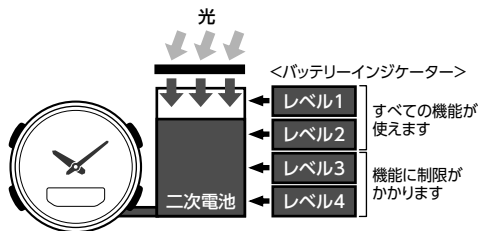
●ライト(表示用照明)をたくさん使うと

ライトを多用すると二次電池の容量は早く減ります。

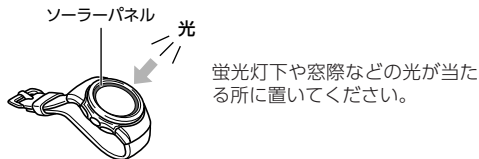


●時計に光が当たるようにしましょう

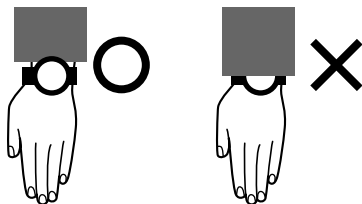
- 電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル3になると機能に制限がかかりますので、レベル1、レベル2を保つように光を当ててください。



- 腕から外したときは表示面（ソーラーパネル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



- 腕に付けているときはなるべく袖が表示面（ソーラーパネル）にかからないように使用してください。



一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

操作のしくみと表示の見方

• 本書の表示例では、一部を除き、アナログ(針)部を省略しております。

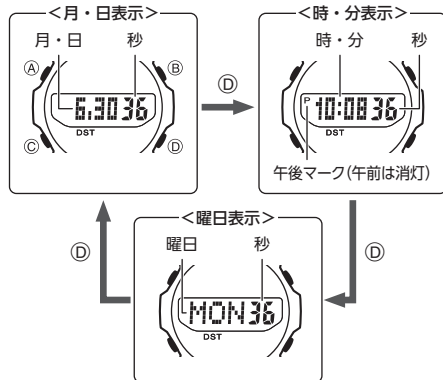
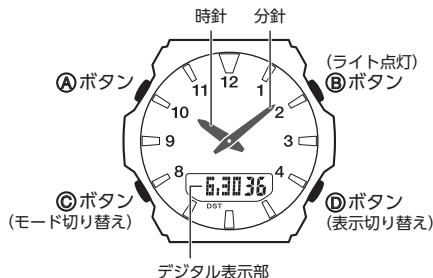
◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

• バッテリーモード、アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード

★表示切り替えについて

◎ ボタンを押すごとに、デジタル部の表示が切り替わります。

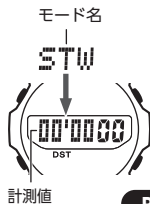


★曜日表示について

下記の各言語から選ぶことができます(34ページ)。
英語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、
ドイツ語、イタリア語

©

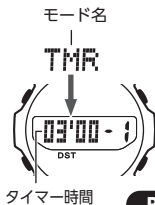
ストップウォッチモード



P.29

©

タイマーモード



P.25

アラームモード



P.22

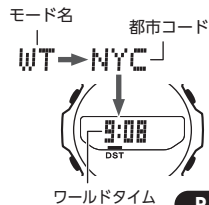
バッテリーモード



P.11

©

ワールドタイムモード



P.18

電源について

本機はソーラーパネルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。

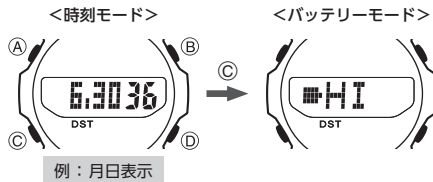
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。

安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

●電池残量の確認

二次電池の残量を確認するには、バッテリーモードに切り替えます。

- バッテリーモードに切り替えるには、時刻モードのときに © ボタンを1回押します。



レベル1		すべての機能が使用可能
レベル2		すべての機能が使用可能
レベル3		キー操作不可、ライト点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可
レベル4		時針・分針ともに12時位置で停止、液晶表示不可、ライト点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可
レベル5		時計機能停止(時計発振不可)

- レベル5になっても再度充電を行うことで使用できます。
- レベル5から充電したときは、レベル2になると表示が点灯します。レベル2またはレベル1になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

- レベル3のとき、時刻モードで上記を表示します。
- 直射日光下などの強い光で充電した場合、二次電池の残量が一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

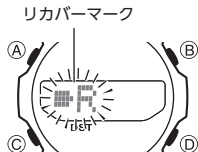
●充電必要サインについて

レベル3や4の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行ってください。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- 運針
- ライトの点灯
- アラーム・時報などの報音
- タイマーのタイムアップ報音



このような場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

●充電時のご注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になり、火傷を負ったり、時計内部の部品が破損する原因となります。

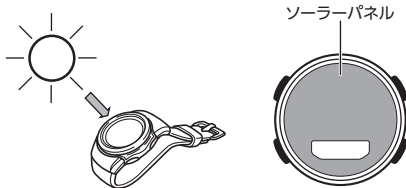
以下のような60℃以上になる可能性がある場所での充電は避けてください。

- 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
- 白熱灯、撮影用ライト、ハロゲンランプなどの発熱体に近い所
- 直射日光が長時間当たり高温になる所

●充電のしかた

本機のソーラーパネル部を光源に向けます。

- ソーラーパネルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。



- イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

●1日、安定した状態で時計を使用するために必要な充電時間

●下記の条件で使用した場合

- ライト：1.5 秒間/日
- アラーム報音：10 秒間/日
- 表示点灯：18 時間/日

●こまめに充電を行えば、安定した状態でご使用いただけます。

環境(照度)	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約8分
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約30分
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約48分
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境(照度)	充電時間			
	レベル5⇒レベル4⇒レベル3⇒レベル2⇒レベル1			
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約3時間		約35時間	約10時間
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約10時間		約130時間	約35時間
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約16時間		約211時間	約57時間
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約189時間		---	---

- この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に針の運針を停止し、液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。

- 時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

• 表示スリープ

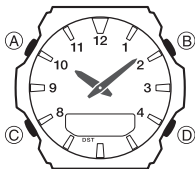
午後10時～午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。

⇒液晶表示が消えます。

アラーム・時報の報音は行います。

アナログ針は運針を継続します。

- タイマーモード、ストップウォッチモードのときは、スリープ状態になりません。



• 機能スリープ

表示スリープのまま暗いところで6～7日間経過します。

⇒アラーム・時報の報音は行いません。アナログ針は

12時の位置で運針を停止します。

- 時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押します。

- 本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大2秒かかる場合があります。

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。

■ ボタンを押して点灯させる

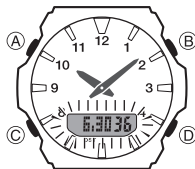
～手動点灯～

セッティング中(表示点滅)以外、どのモードのときでも、

③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すとライトが点灯します。

- 点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます(次項参照)。



— 〈ライト点灯についてのご注意〉 —

- 直射日光下では点灯が見えにくくなります。
- 点灯中にアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

■ ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

① ボタンを約2秒間押し続け、“ADJ”と表示されたら指を離します

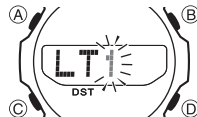
⇒ 都市コードが点滅します。

- セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 「ライトの点灯時間」を設定する

③ ボタンを10回押します

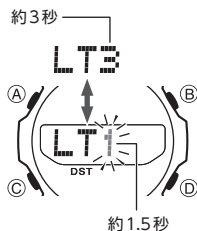
⇒ “LT1” (1は点滅) または “LT3” (3は点滅) が表示されます。



3. 点灯時間を切り替える

④ボタンを押します

⇒④ボタンを押すごとにライトの点灯時間が切り替わります。



4. セットを終わる

①ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

ワールドタイムの使い方

9ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（31タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

- ワールドタイムは、基本時刻との時差にしたがい他の都市の時刻が自動的にセットされます。
- ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
- ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

■ご注意■

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの現在時刻およびホーム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

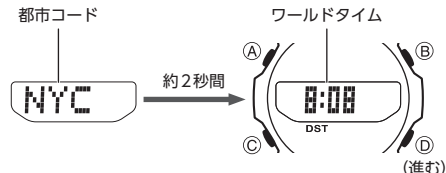
* セットについては31ページ参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

◎ボタンを押します

- ⇒ ◎ボタンを押すと、現在設定されている都市コードを約2秒間表示し、続いてその都市の時刻を表示します。
- 都市コードを表示中に◎ボタンを押すと、都市コードが進みます。
 - 押し続けると早送りします。



■ サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムのオン/オフ設定

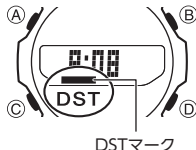
準備：ワールドタイムモードのとき、**④** ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

④ ボタンを約2秒間押し続けます

(約2秒間)

→ **④** ボタンを約2秒間押し続けるごとにサマータイムのオン/オフが切り替わります。

- サマータイムがオンのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。



■ ホームタイムとワールドタイムの 入れ替え

ホームタイムとワールドタイムを入れ替えることができます。

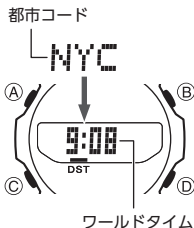
例：ホームタイム (TYO) とワールドタイム (NYC) を入れ替える。

	ホームタイム	ワールドタイム
操作前	東京 (TYO) 午後 10 時 08 分 (スタンダードタイム)	ニューヨーク (NYC) 午前 9 時 08 分 (サマータイム)
操作後	ニューヨーク (NYC) 午前 9 時 08 分 (サマータイム)	東京 (TYO) 午後 10 時 08 分 (スタンダードタイム)

1. 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき、

④ ボタンを押して、設定
したい都市を選びます

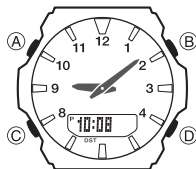


2. ホーム都市を入れ替える

① ボタンと ② ボタンを確
認音が鳴るまで同時に押
し続けます

➡ 1. で選んだ都市 (ニュー
ヨーク) がホーム都市にな
ります。

- 操作を行う前のホーム都
市 (東京) がワールドタイ
ムモードの選択都市にな
り、ワールドタイムモード
の時刻が修正されます。



■ ご注意 ■

日本でお使いの場合は、必ずホーム都市を「TYO」に設定し
てください。

■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
UTC	0	<協定世界時>	TPE	+8	台北
LIS		リスボン	SEL	+9	ソウル
LON		ロンドン	TYO		東京
MAD	+1	マドリッド	ADL	+9.5	アデレード
PAR		パリ	GUM	+10	グアム
ROM		ローマ	SYD		シドニー
BER		ベルリン	NOU	+11	ヌーメア
STO		ストックホルム	WLG	+12	ウェリントン
ATH	+2	アテネ	PPG	-11	パゴパゴ
CAI		カイロ	HNL	-10	ホノルル
JRS		エルサレム	ANC	-9	アンカレジ
MOW	+3	モスクワ	YVR	-8	バンクーバー
JED		ジェッダ	LAX		ロサンゼルス
THR	+3.5	テヘラン	YEA	-7	エドモントン
DXB	+4	ドバイ	DEN		デンバー
KBL	+4.5	カブール	MEX	-6	メキシコシティ
KHI	+5	カラチ	CHI		シカゴ
DEL	+5.5	デリー	NYC	-5	ニューヨーク
KTM	+5.75	カトマンズ	SCN	-4	サンティアゴ
DAC	+6	ダッカ	YHZ		ハリファックス
RGN	+6.5	ヤンゴン	YYT	-3.5	セントジョンズ
BKK	+7	バンコク	RIO	-3	リオデジャネイロ
SIN	+8	シンガポール	FEN	-2	フェルナンド・デ・ノロニャ
HKG		香港	RAI	-1	プライア
BJS		北京			

- この表は2024年7月現在作成のものです。
- この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。
- 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラーム・時報の使い方

9ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム(AL1～AL5)

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。

● 時報(SIG)

毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■ アラームのセット

1. アラームを選ぶ

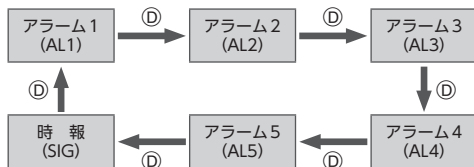
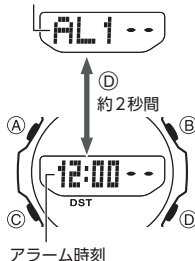
アラームモードのとき、

◎ボタンを押します

→ ◎ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラーム番号を選びます。

- アラームモードに切り替えた直後は、前回このモードで最後に表示していたアラーム番号を表示します。

アラーム番号

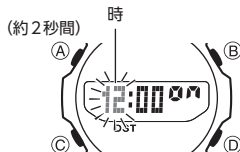


2. セット状態にする

④ ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「時」が点滅します。

- セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



3. 「時」をセットする

⑤ または ⑥ ボタンを押します

⇒⑤ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑥ ボタンを押すごとに戻ります。

- それぞれ押し続けると早送りします。
- 「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P) または 24 時間制にご注意ください。
- 基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。

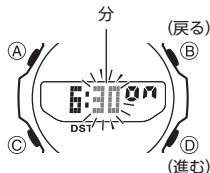


4. 「分」をセットする

⑦ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様に⑤ または⑥ ボタンでセットします。



5. セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

■ アラーム・時報のオン/オフ設定

1. オン/オフを設定するアラーム番号または時報を選ぶ
アラームモードのとき、

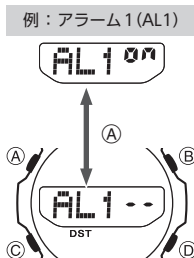
⑩ボタンを押します

⇒ ⑩ボタンを押すごとにアラーム番号、時報が切り替わります。

2. オン/オフを設定する

⑨ボタンを押します

⇒ ⑨ボタンを押すごとに時報のオン/オフが切り替わります。



■ 鳴っている電子音を止めるには
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

タイマーの使い方

9ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは二つのタイマーで構成されており、計測時間をそれぞれセットします。二つのタイマーは交互に計測され、あらかじめセットした回数だけ計測して終了します。タイマーは二つとも5秒単位で99分55秒まで、計測回数は10回までセットできます。タイマーは二つとも、セットした時間が経過すると確認のため短い電子音が鳴ります。また、すべてが終了すると5秒間の電子音が鳴ります。

■タイマーのセット

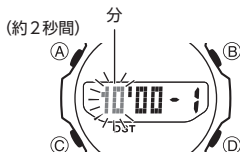
1. セット状態にする

タイマーモード(リセット状態)のとき、

◎ボタンを約2秒間
押し続けます

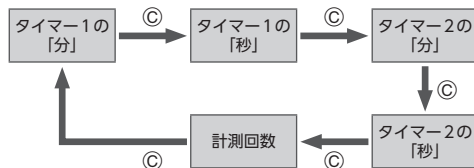
→タイマー1の「分」が
点滅します。

- セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



◎ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動し、設定
できます。

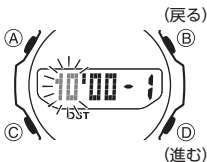
◎ボタンを押すとリセット状態に戻り、計測を始められます。



2. タイマー1の「分」をセットする

④または③ボタンを押します

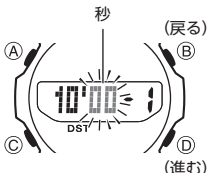
- ⇒④ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、③ボタンを押すごとに戻ります。
- それぞれ押し続けると早送りします。
 - タイマー1を使用しないときは「00'00」とセットしてください。



3. タイマー1の「秒」をセットする

③ボタンを押します

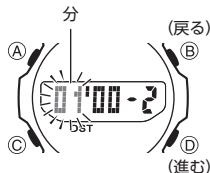
- ⇒「秒」が点滅します。
- 「秒」も「分」と同様に④または③ボタンでセットします。「秒」は5秒単位でセットできます。



4. タイマー2の「分」をセットする

③ボタンを押します

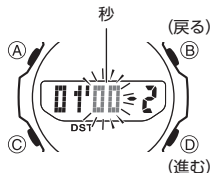
- ⇒「分」が点滅します。
- タイマー1と同様に④または③ボタンでセットします。
 - タイマー2を使用しないときは「00'00」とセットしてください。



5. タイマー2の「秒」をセットする

③ボタンを押します

- ⇒「秒」が点滅します。
- 「秒」も「分」と同様に④または③ボタンでセットします。「秒」は5秒単位でセットできます。

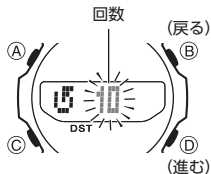


6. 計測回数をセットする

◎ ボタンを押します

⇒「回数」が点滅します。

- 同様に④または③ボタンでセットします。



7. セットを終わる

◎ ボタンを押します

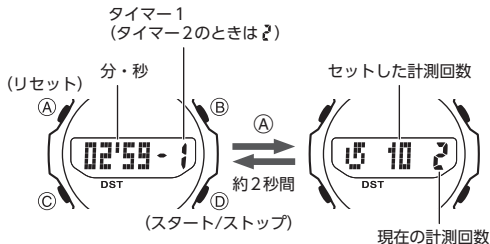
⇒点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方 (減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、

◎ ボタンを押します

⇒④ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。1秒単位で計測を行います。



設定した計測回数が終わるとタイムアップし5秒間報音します。

- 計測中に **A** ボタンを押すと、セットした計測回数を表示します。約 2 秒後に自動的に計測中の表示に戻ります。
- タイマー 1 とタイマー 2 は交互に計測されます。切り替わるときに短い電子音が鳴ります。
- タイマー 1・2 のうち「00'00」が設定されている方は計測されません。両方とも「00'00」が設定されているとタイマー計測が始まりません。
- 計測停止中に **A** ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。
- **D** ボタンで停止した後、もう一度 **D** ボタンを押すと表示タイムから計測を続けます。
- 計測中に別のモードに変えても計測は継続していき、また電子音も鳴ります。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ストップウォッチの使い方

9ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99 (60分計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

(スプリット/リセット)



(スタート/ストップ)

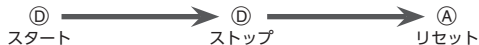
●表示について

●計測中の表示

[分・秒・1/100秒]を表示します。



●通常計測



計測終了後(A)ボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

〈積算計測〉

ストップ後リセットせずに(D)ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

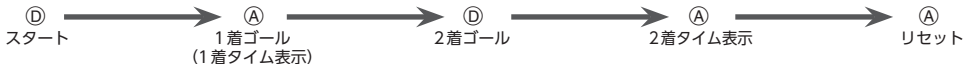
●スプリットタイム(途中経過時間)の計測



計測中に(A)ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

- スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

●1・2着同時計測



スプリットタイム表示中に(D)ボタンを押すと、スプリットタイムを表示したまま計測が停止します。

このとき(A)ボタンを押すと、スプリット表示が解除され、停止した時間を表示します。

ホームタイムデータ(時刻・日付)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・日付等を合わせることです。

- ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行います。

デジタルのホームタイムデータを修正すると、アナログの時刻も連動して、自動的に修正されます。もし、デジタルのホームタイムデータを修正しても、アナログの時刻が合っていない場合、針の基準位置を確認し、必要に応じて基準位置を合わせてください(36ページ参照)。

■ セットのしかた

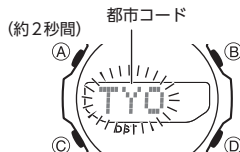
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約2秒間
(確認音になるまで)
押し続け、“ADJ”と表
示されたらボタンを
離します

→ 都市コードが点滅しま
す。

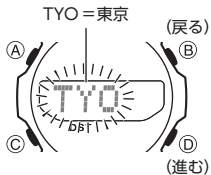
- セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. ホーム都市を選ぶ

⑩または⑨ボタンを押します

→ ⑩ボタンを押すごとに都市コードが進み、⑨ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。



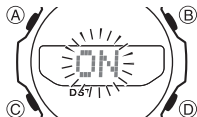
* 21 ページ「都市コード一覧」参照。

• ⑩・⑨ボタンとも、押し続けると早送りします。

3. 「サマータイム」を設定する

⑩ボタンを押します

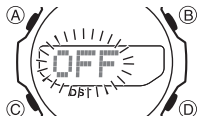
→ サマータイムの設定になります。



4. サマータイム設定を切り替える

⑩ボタンを押します

→ ⑩ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



● OFF

サマータイムはオフになります（通常時間）。

● ON

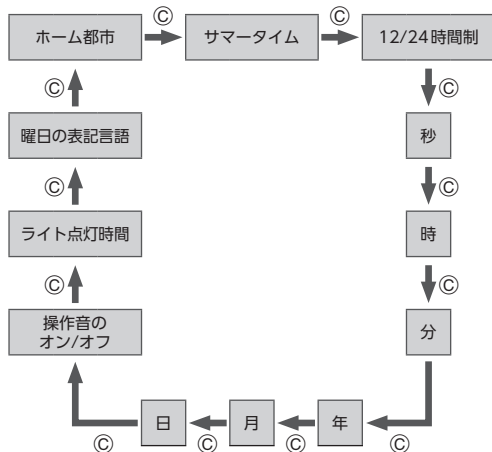
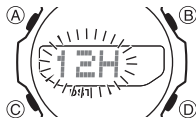
サマータイムになり、スタンダードタイムより 1 時間進みます。

- セット完了後、DSTマークが点灯します。

5. セット箇所を選ぶ

◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



- どこが点滅している状態でも、◎ボタンを押せばセットを完了できます。

6. 点滅箇所をセットする

◎または◎ボタンを押します

⇒◎または◎ボタンで点滅箇所をセットします。

a. 「12/24時間制表示」切り替えのとき

◎ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」が切り替わります。

12/24時間制



b. 「秒」セットのとき

◎ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

- 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

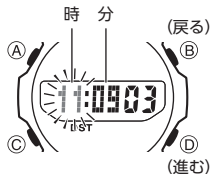
00秒になる



c. 「時」「分」「年」「月」「日」セツトのとき

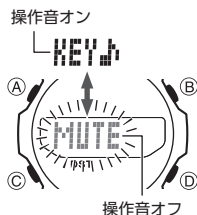
① ボタンを押すごとに点滅箇所
の数字が進み、② ボタンを押
すごとに戻ります。

- ①・② ボタンとも、押し続
けると早送りができます。



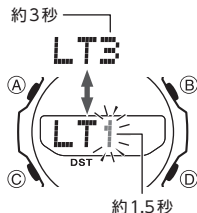
d. 「操作音のオン/オフ」設定のとき

① ボタンを押すごとに、モー
ド切り替え時などに鳴る操作
音のオン/オフが切り替わりま
す。



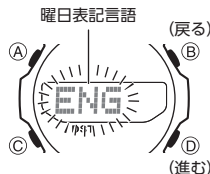
e. 「ライト点灯時間」設定のとき

① ボタンを押すごとにライト
の点灯時間が切り替わります。



f. 「曜日の表記言語」設定のとき

① または ② ボタンを押すごと
に言語が切り替わります。



	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
ENG 英語	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
POR ポルトガル語	DOM	SEG	TER	QUA	QUI	SEX	SAB
ESP スペイン語	DOM	LUN	MAR	MIE	JUE	VIE	SAB
FRA フランス語	DIM	LUN	MAR	MER	JEU	VEN	SAM
DEU ドイツ語	SON	MON	DIE	MIT	DON	FRE	SAM
ITA イタリア語	DOM	LUN	MAR	MER	GIO	VEN	SAB

③ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、④ または ⑤
ボタンを押してセツトする操作を繰り返して、時刻・
日付を合わせます。

- 「時」のセットのとき午前/午後 (P) または24時間制にご注意ください。
- 「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。
- 「年」「月」「日」は正しくセットしてください。うるう年、大の月および小の月を判別して、「曜日」を自動的に設定します(フルオートカレンダー)。

7. セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

<シンクロ機能>

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部(針)も連動して修正されます。

- 針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

針の基準位置合わせ

強い磁気や衝撃を受けると、針が基準位置からずれることがあります。以下の操作を行って針の基準位置を確認し、ずれている場合は、基準位置を合わせてください。

- 時刻モードで、アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っているときは、針の基準位置合わせを行う必要はありません。

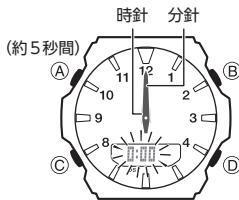
1. 基準位置確認状態にする

時刻モードのとき、

“H.SET”と表示されるまで、**Ⓐ**ボタンを約5秒間押し続け、“H.SET”と表示されたらボタンを離します

→時・分針が基準位置（12時位置）に移動し、“0:00”が点滅します。

- Ⓐ**ボタンを押し続けて約2秒後に“ADJ”と表示されますが、そのまま押し続けてください。“H.SET”と表示されたらボタンを離します。
- 基準位置確認状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的に確認状態が解除されます。
なお、確認状態が解除されるまでに行った変更は保持されます。



★時・分針が基準位置（12時位置）にある場合は、手順3.に進みます。

2. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

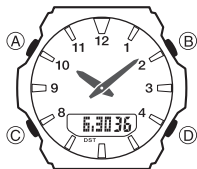
→ **Ⓓ** ボタンを押すごとに進み、**Ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ**・**Ⓑ** ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。
- Ⓓ** ボタンによる早送りは分針が12回転、**Ⓑ** ボタンによる早送りは、分針が1回転すると自動的に止まります。

3. 基準位置合わせを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒時刻モードに戻り、現在の時刻を表示します。



基準位置合わせが終了したら、時刻モードで、針の時刻とデジタル部の時刻が合っているかご確認ください。もし違っている場合は、再度針の基準位置合わせを行ってください。

製品仕様

精度: 平均月差 ± 30 秒以内

基本機能: アナログ部
時・分(20秒運針) 2針
デジタル部
時・分・秒、午前/午後(P)/
24時間制表示、月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000～
2099年)

ワールドタイム機能: 世界48都市(31タイムゾーン)の時刻
を表示、サマータイム設定機能

アラーム機能: 時刻アラーム
アラーム数 5本
セット単位 時・分
電子音 10秒間
時報 毎正時に1秒間の電子音で報知

タイマー機能: タイマー数 2(1組)
セット単位 5秒
計測範囲 99分55秒
計測単位 1秒
計測回数 1～10回
タイムアップを5秒間の電子音で報知

ストップウォッチ機能: 計測単位 1/100秒
計測範囲 59分59秒99(60分計)
計測機能 通常計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り
替え、LEDライト、パワーセービング
機能、バッテリーインジケータ表示、
操作音オン/オフ設定、多言語曜日表
記

使用電池: 二次電池 CTL920
公称電圧 2.3V

持続時間: 約10ヵ月

(光に当てないで、1日あたり電子音
10秒間、ライト1.5秒間、表示点灯
18時間使用した場合)

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
		「BAR」表記無し	5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スクーバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用するこ
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

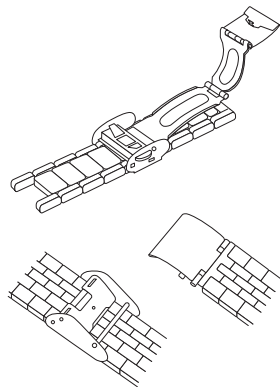
金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543

東京都渋谷区本町1-6-2